

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン 2019年度第3回理事会議事録

1. 日 時 : 2019年6月23日(日) 11:00~14:00

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1 インターグループビル1階 会議室

3. 出席者

(1) 本人出席者 8名

大橋健、水野勝教、今井俊二、島谷太、中島晃芳、野村泰朗、森重智年、松山森仁

(2) 委任状提出者 2名

松原仁、小山航太

(3) 理事以外出席者 5名

田中宏明(監事)、山下真(WGメンバー)、前田正久(事務局長)、浅沼まり(事務局)、休場万喜(事務局)

4. 議 事

1. 和歌山大会に関して

- ・反省と来年に向けて
- ・次回ジャパンオープン開催日程の確定

2. 2019世界大会に関して

- ・準備状況と進捗

3. RCAP2020 Aichiに関して(大橋代表理事)

4. RCJJの運営について

- ・電池ルールについて(松山理事)
- ・ジャパンオープン開催候補地選定基準の修正(大橋代表理事)

5. 報告

6. 議事録署名人の選定

7. その他

5. 資 料

資料1-1. ノード大会参加人数

資料1-2. ノード大会出場チーム数

資料1-3. ジャパンオープン2019の反省点と提案

資料2-1. バッテリールール理事会案検討用資料

資料2-2. 補足資料1-リチウム系バッテリー管理運用報告

資料2-3. 補足資料2-充電ラックの製作仕様(案)

資料2-4. バッテリールール制定へのご協力をお願い

資料3. ジャパンオープンと日本大会 開催候補地選定について

資料4. 関東ブロックのノード長、競技関係者ご意見

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①大橋代表理事が開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 和歌山大会に関して

①資料1-1、1-2に基づき、中島理事よりジャパンオープン2019和歌山大会の参加状況の報告がなされた。世界大会での参加下制限が毎年1歳ずつ引き上げられているため、日本の現状を伝え、下限年齢引き上げを2年に1回への変更等を国際委員会へ提案することとした。昨年度と比べWLのチーム数は減少し、NLは増加しているが、NLを普及させる方針に基づく結果であり、会場のキャパシティがあることから、妥当な結果であるとの考察がなされた。また、今大会の出場チ

ーム決定時期が遅くなったため辞退が相次ぎ、予定の出場チームに達しなかったことを踏まえ、ロード参加者を集計した情報を早めにブロックより提出してもらい、各ブロックへの配分を早々に行えるようにしたい。提出して欲しい情報を統一できるよう、次回理事会までにフォーマットを作成することとなった。

②資料1-3に基づき、中島理事より大会中の安全対策、大会運営等の反省点と改善案が提案され、朝夕のミーティングの実施、競技時間確保のため開会式の開始時刻を調整する等の改善案が議論され、次回大会運営に活かしていくことが確認された。

③山下氏より、大会期間中に指導者向けの教員ツアーを実施した旨の報告がなされた。教員のクラブ活動負担軽減の方向にあることや、教材やロボット購入の予算がない学校での普及は難しいとのことであった。

④田中監事より、教材作成やロボカップの普及活動のためには、財源の確保は重要であり、Webページを見直し、資料1-3(7)で提案されているようにRCJJ活動に協賛して頂けるようなオフィシャルパートナーの募集を積極的にすべきではないかとの提案がなされた。

⑤大橋代表理事より、次回ジャパンオープン開催日程について、前回に引き続き和歌山にて、設営日を含め2020年4月24日(金)25日(土)26日(日)に開催する予定であることが確認された。

(3) 2019世界大会に関して

①野村理事より、2019世界大会について報告がなされた。日本からの出場チームは、サッカーLightWeight、レスキューMazeは各2チーム、サッカーOpen、レスキューLine、シミュレーション、OnStageNoviceは各1チームとなり、合計8チームとなった。また、RegionalRepからのメールを野村理事だけでなく、大橋代表理事、水野専務理事もバックアップ出来るよう国際専用のメールアドレスを両名にも設定することとなった。6月9日(日)インターグループ大阪本社内で実施された事前講習会には、追加チームを除く、5チームから競技者、メンター、保護者が参加し、より実践に即した英語講習を実施できた。また、世界大会補助金は、他からの補助金等を受け取っていない競技者を対象に、エビデンスの原本と所定の申請書を提出することで、大会終了後該当者に支払われることを再度確認された。

(4) RCAP2020Aichiに関して

①大橋代表理事より、RCAP2020Aichiの進捗状況が報告された。ロボカップジュニアからは、大橋代表、水野専務理事、野村理事、各競技から代表3名が当大会の専門部会に参加する旨、報告がなされた。

(5) RCJJの運営について

①松山理事より、資料2-1に基づき、バッテリールール案の説明がなされた。参加者の安全を最優先にしつつ、世界大会の基準とあまりかけ離れないルール作りが必要であるとの認識で一致した。また、資料2-4に基づき、ルール制定までのスケジュールが説明され、パブリックコメントを経た後、修正が加えられた最終版を公開することとなった。なお、理事会は、全体的な方針は定めるが、技術的な内容は技術委員会に委ね、その決定を支持することを確認した。

②大橋代表理事より、資料3に基づき、ジャパンオープン開催候補地選定案が説明された。山下氏より、大会期間中のWifi使用停止できることが望ましいことを条件として追加する提案がなされた。修正案を早急に作成し、Web上に公開することを確認した。

(6) その他

(7) 議事録署名人の選任

本日の議事録署名人として、島谷太氏、及び森重智年氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

令和元年年6月23日

議 長 大橋 健

議事録署名人 島谷 太

同 森重 智年

